

## 【用語集】

頁数	用語	意味
4	土砂災害の危険度レベル	土砂災害発生の危険度を表す。危険度レベルが上昇するにしたがって、土砂災害発生の危険性が高くなる。 なお、危険度レベル 10 を「土砂災害発生危険ライン」としている。
4	土壌雨量指数	土壌中の雨の貯留量を表す。土壌雨量指数が大きくなるほど、土砂災害の危険性が高くなる。
4	土砂災害発生危険ライン	過去に土砂災害が多発したときの降雨状況から決められた基準である。降雨が土砂災害発生危険ラインを超えると土砂災害が発生する危険性が特に高まっていることを示している。
11	バックビルディング現象	バックビルディング現象は積乱雲が連続して発生する現象である。 積乱雲は雨を降らせることにより下層に周囲より冷たい空気が生まれる。そこに暖かく湿った空気が流れ込み、冷たい空気の上に乗上げる形になり、新たな積乱雲が発生する。このサイクルを繰り返すことで、風上側に次々と積乱雲が発達する。
25	右岸部凸型斜面	川を上流から下流に向かって眺めた時に、右側の岸のことを右岸と呼ぶ。 凸型斜面は、縦断または横断方向の断面の形状が凸型に湾曲した斜面のことである。 形状の違いにより、直線型斜面、凹型斜面に分類される。
27	渓岸	渓流の岸のこと。
29	砂防堰堤	山地や渓流からの土砂の流出を防ぐために、山間部や渓流に設ける堰堤のこと。 不透過型砂防堰堤は、土砂を貯めて渓流の勾配を緩やかにする働きや一度に大量の土砂が下流に流れ出ることを防ぐ働きがある。 また、透過型砂防堰堤は、普段は流れてくる土砂は貯めずに下流に流し、土石流が起きた場合にだけ土砂や流木を食い止める働きがある。
35	0次谷	常時表流水のない谷型の地形をいう。本資料では、地形図の等高線の凹み具合から、凹んでいる等高線群の間口よりも奥行が小なる地形としている。
41	土砂災害危険度指標の把握	土砂災害の危険度レベルを把握すること。

43	土石流危険渓流	<p>土石流危険渓流は、土石流が発生する危険性があり、人家または学校などの公共施設に被害をもたらす可能性がある渓流をいう。土石流危険渓流は、土石流の氾濫・堆積が想定される区域内の保全対象戸数等に応じて、次のように分類されている。</p> <p><b>【土石流危険渓流】</b></p> <p>想定氾濫区域内に保全人家戸数が5戸以上分布する、または、保全人家5戸未満であっても官公署、学校、病院、災害時要援護者施設、駅、発電所等の公共施設が分布する渓流。</p> <p><b>【土石流危険渓流】</b></p> <p>想定氾濫区域内に保全人家戸数が1戸以上5戸未満分布する渓流。</p> <p><b>【土石流危険渓流】</b></p> <p>想定氾濫区域内に保全対象は分布していないが、都市計画区域内で今後住宅等の新築の可能性があると考えられる渓流。</p>
43	急傾斜地崩壊危険箇所	<p>急傾斜地崩壊危険箇所は、斜面の角度が30度以上で、け高さが5m以上の箇所のこと。</p> <p><b>【急傾斜地崩壊危険箇所】</b></p> <p>保全区域内に人家が5戸以上ある箇所。</p> <p><b>【急傾斜地崩壊危険箇所】</b></p> <p>保全区域内に人家が1戸以上5戸未満ある箇所。</p> <p><b>【急傾斜地崩壊危険箇所】</b></p> <p>保全区域内に人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる箇所。</p>
43	肌落ち	<p>斜面の表層の土砂や岩の一部が自然に崩れ落ちること。</p>
43	パイピング	<p>地盤に浸透した地下水によって地盤中の細かい粒子が洗い出され、地盤内にパイプ状の水みちができる現象。</p>